

## 2019 年度公益社団法人日本臨床細胞学会事業報告

1. 臨床細胞学に関する学術研究の推進並びに学術集会の開催
  - ① 学術集会等を通じた研究・教育の普及および広報
    - 1) 第 60 回 (2019 年) 春期大会 竹島信宏大会長  
会期：2019 年 6 月 7 日 (金) ～9 日 (日)  
会場：京王プラザホテル・NS イベントホール
    - 1) 第 58 回 (2019 年) 秋期大会 森谷卓也大会長  
会期：2019 年 11 月 16 日 (土) ～17 日 (日)  
会場：ホテルグランヴィア岡山・岡山コンベンションセンター・他
  - ② 班研究活動への助成による学術研究  
2019 年度班研究課題を公募し、3 題の応募があった。学術委員会選考会にて審議した結果、大崎博之氏より応募された「尿中ポドサイトによる糸球体腎炎の各種判定基準の確立ー尿細胞診の新たなフロンティアの開拓ー」が採用された。
  - ③ 2019 年度特別学術研究費を公募し、3 題の応募があった。学術委員会選考会にて審議した結果、田中良太氏より応募された「ゲノム時代における呼吸器科液状化検体の細胞を用いたクリニカルシーケンスに関する多施設共同研究」が採用された。
  - ④ 2019 年度特別学術研究費 2 を公募し、1 題の応募があった。学術委員会選考会にて審議した結果、松浦基樹氏より応募された「自己採取法による HPV 検査の子宮頸がん検診の未受診者対策としての有効性評価」が採用された。
  - ⑤ 細胞診の学術研究と海外との交流を推進のため、2019 年 5 月 5～9 日にオーストラリア、シドニーで開催される 2019 International Cytology Congress (ICC) 参加サポートの「2019ICC トラベルグラント」を設定。14 名中、11 名が選考され、1 名につき 100,000 円、合計 1,100,000 円の支援を行った。
  - ⑥ 公益活動の推進を図ることを目的に、細胞診に関する公益事業（公開講座等）に助成金として資金援助を 6 件（東海連合会 2 回、沖縄県細胞学会、第 58 回秋期大会、静岡県臨床細胞学会、大阪府臨床細胞学会）行った。
  - ⑦ ゲノム医療時代の到来をふまえてゲノム医療における細胞診検体のあり方を検証するため、病理細胞検体の核酸品質検討に関する研究費の助成を行った。
  - ⑧ 学会研究活動  
「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診と HPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究 (CITRUS study)」、「子宮頸癌疑い患者及び検診受診者を対象とした LC-1000 の有用性に関する臨床試験」を行った。ゲノム医療時代における細胞診のあり方を検討するため、検体保存と DNA 品質との関連などを調査する研究活動を行なった。

- ⑨ 学会賞・技師賞・最優秀論文賞の授与およびその論文発表  
 学会賞（応募者1名）：中村 直哉  
 技師賞・学術部門（応募者2名）：木下 勇一  
 技師賞・功労部門（応募者1名）：田路 英作  
 最優秀論文賞（応募者 和文2名・英文3名）：和文：金田 敦代  
 英文：豊田 進司

2. 臨床細胞学に関する教育普及事業

① 講習会およびセミナーの開催

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第128回細胞検査士養成講習会	2019年7月1日（月） ～13日（土）	東京医学技術専門学校 伊藤 仁
第44回細胞診断学セミナー	2019年8月8日（木） ～11日（日）	東京医学技術専門学校 教育委員長
第77回細胞検査士教育セミナー	2019年8月24日（土） ～25日（日）	パシフィコ横浜 岸本 浩次
第78回細胞検査士教育セミナー	2019年9月7日（土） ～8日（日）	松下IMPホール 服部 学
第78回細胞検査士ワークショップ	2019年7月20日（土） ～21日（日）	神奈川県 仲村 武
第79回細胞検査士ワークショップ ※	2020年2月29日（土） ～3月1日（日）中止	愛知県 今枝 義博

※第79回細胞検査士ワークショップは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、使用会場より使用中止の要請があり開催中止となった。

3. 臨床細胞学に関する渉外・広報事業

- ① 診療報酬改定に係る活動を行った。
- ② 子宮の日：都道府県にて子宮頸がん検診推進活動を行った。
- ③ ホームページやメールを通じたの広報活動を行った。
- ④ 関連他団体との連携を行った。

4. 臨床細胞学に関する細胞診専門医並びに細胞検査士の資格認定、更新に関する事業

- ① 細胞診専門医、細胞検査士の資格認定者数、資格更新者数
  - 1) 2019年度細胞診専門医
    - ・資格認定者数 122名

- ・資格更新無し
  - 2) 2019年度細胞検査士
    - ・資格認定者数 236名（内学生受験合格者50名）
    - ・資格更新者数1,637名
  - ② 教育研修指導医の資格認定
    - 1) 2019年度教育研修指導医の認定者数166名
    - 2) 2019年度教育研修指導医の資格更新者数285名
5. 細胞診断の質を維持、向上させるための施設認定、研修に関する事業
- ① 細胞診を用いた検診等を実施する団体等への施設認定、細胞診専門医を育成するための教育研修施設認定
    - 1) 2019年度施設認定
      - ・新規施設認定 14施設
      - ・総認定施設数 856施設
      - ・認定資格更新 662施設
    - 2) 2019年度教育研修施設認定
      - ・新規施設認定 7施設
      - ・総認定施設数 326施設
      - ・認定資格更新 14施設
6. その他前条の目的を達成するために必要な事業
- ① 国際細胞学会（IAC）の資格認定や連携（合同シンポジウムの開催など）
    - 1) 2019年度IAC資格更新101名
    - 2) サイトパソロジスト試験合格者4名
    - 3) サイトテクノロジスト試験合格者158名
  - ② 肺がん学会とのワーキンググループ
    - 1) 日本肺癌学会・日本臨床細胞学会による2学会合同の「肺癌細胞診の診断判定基準の見直し」を行った。
  - ③ ゲノム時代における呼吸器細胞診検体処理の精度管理ワーキンググループ、IAC Yokohama System 乳腺細胞診ワーキンググループ、細胞診専門医教育研修指導要綱改定ワーキンググループを作った。
  - ④ 地域連携の活動を行った。
  - ⑤ 国際交流事業（日韓、日中、日・タイ、日米との共催事業、豪州との人事交流、カンボジアへの支援を実施）を行った。
  - ⑥ 新型コロナウイルス感染症に対する検討と対策を行った。